様式第1号　別紙

補助事業計画書

１　企業等の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 企業名 |  |
| 代表者 | 役職： | 氏名： |
| 所在地 |  |
| 設立年 | 　　　　年 | 資本金 |  | 従業員数 |  |
| 事業内容 |  |
| 県内事業所 | 名称 |  |
| 所在地 |  |
| 従業員数 |  |
| 事業内容 |  |
| 担当者 | 役職： | 氏名： |
| メール： | 電話： |
| 【売上概況】 |
| 決算期 | 年　　月期 | 　　　年　　月期 | 　　　年　　月期 |
| 売上高 |  |  |  |
| うち海外売上高 |  |  |  |
| 【貿易実績】直近期 |
| 輸出・輸入 | 相手国 | 品名 | 利用港 | 数量（単位：　） | 貿易形態(直接・間接) |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

２　計画事業の概要（次の項目について記入及び✓を付けてください。）

1. 浜田港利用によるトライアル輸送を行うきっかけ、目的、取組内容

|  |  |
| --- | --- |
| 区分 | □浜田港を利用したことがない□浜田港を利用したことがある |
| 利用の契機・背景等 |  |
| 目的 |  |
| 取組内容 |  |

1. トライアル輸送の詳細

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 対象国・地域 |  | 輸出入の別 | □輸出　□輸入 |
| 貨物内容 | 品目 |  |
| 用途 |  |
| 事業実施予定回数 | 　　回/3回 | コンテナの別 | □DRY　□REEFER |
| 輸送ルート | 既存 | 　　　　→　　　　→　　　　→ |
| トライアル | 　　　　→　　　　→　　　　→ |
| 貿易条件（FOB、CIF等） |  |
| 実施期間（予定） | 　年　月　日～　年　月　日 |
| 実施スケジュール | 1回目：　年　　月　　TEU（20F　　本、40F　　本）2回目：　年　　月　　TEU（20F　　本、40F　　本）3回目：　年　　月　　TEU（20F　　本、40F　　本） |
| 年間貨物量（見込） | 　　年間　　　TEU |

※利用ルートについては、生産地から消費地まで記入してください。

輸出：国内生産地（市町村）→積出港（＋積替港）→海外仕向港→最終仕向地（国）

輸入：海外仕出地（国）→積出港（＋積替港）→国内港→最終仕向地（市町村）

３　期待される成果（次の項目について記入及び✓を付けてください。）

|  |
| --- |
| * コスト削減　　　　　　（　　）％程度削減見込み
* リードタイムの短縮　　（　　）日程度短縮見込み
* 事業継続計画（BCP）に基づく物流拠点分散化等による事業継続性の確保
* 生産拠点移管や物流拠点分散化による物流効率化
* 国内輸送距離短縮による環境負荷低減
* 周辺エリアへの販路拡大
* その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
 |

４　経費

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 補助対象経費（項目） | 補助事業に要する経費（円） | 積算内訳 |
| 国内輸送に要する経費 |  | 〇円/回×〇回 |
| 海上輸送に要する経費 |  |  |
| 荷役業務に要する経費 |  |  |
| 輸出入の手続きに要する経費 |  |  |
| 計 | A | 消費税及び地方消費税を除く |

補助金交付申請額　＝　　　　　　　　　　円　≦（ A × 1/2 ）

※１事業者あたりの上限額は100万円

※1,000円未満の端数があるときは、その端数は切り捨て

（注意事項）

１　経費区分は、別表の補助対象経費ごとにそれぞれ記載すること。

２　経費の内容は「積算」の欄に詳細に記載すること。

３　経費の内容がわかる参考資料（パンフレット・写真等）があれば添付すること。